

野研びより

野外生物生態調査研究部 植物班

2015 年 5 月

リンドウは普通晩夏から秋にかけて咲きますが、なかには春に咲くものもあります。ハルリンドウ・フデリンドウ・コケリンドウの 3 種です。コケリンドウの花は非常に小さく判別が容易なため、今回はハルリンドウとフデリンドウの見分け方について書きます。

ハルリンドウ・フデリンドウ共に高さ 10cm ほどの 2 年草です。湿り気があり日当たりの良い草地や山野に自生しているのを見かけます。3 月に鏡洲保育園の裏から飢肥街道に抜ける道の途中でフデリンドウを見つけました。

さて、この 2 種の見分け方ですが「牧野日本植物図鑑」には以下のようにあります。

ハルリンドウ 「茎の頭に 1 個ずつ青紫色の花を付ける」

フデリンドウ 「茎の頂きに数個の紫色の花を付ける」

まず、花の色が異なります。下の写真のハルリンドウは青いですが、実際にはもう少し赤みがかっており、両種の花の色にここまで顕著な違いはありませんが参考にはなります。

次に、花のつき方です。ハルリンドウは根元から数本の茎が伸び、それぞれの茎の上に一つずつ花を咲かせます。成長していないときはつくしに似ていなくもないですね。一方フデリンドウは一つの茎に花が数個まとまってつきます。そのため花が密集してみえることも特徴の一つです。

少し見つけにくい植物かもしれませんが、もし見つけたらどちらであるのか同定してみてください。



ハルリンドウ：久住高原（2004.4.11 撮影）



フデリンドウ：双石山（2015.3.20 撮影）